

第40回 全国学生躰道優勝大会

大会実施要項

本案で大会を実施する予定ですので、記載されている内容に沿った練習で準備を進めて下さい。尚、「大会出場申込書」の提出や「出場費納入」などの締め切りを厳守の上、積極的に参加されますようお願い申し上げます。

大会会長 中島 章皓

大会実行委員長 渋谷奈々子

(1) 大会運営・進行概要

1. 主催と後援

主催：NPO法人 日本剣道協会

後援：文部科学省・東京都教育委員会

2. 開催日時：平成18年10月22日(日)

3. 会場：東京武道館

〒120-0005

東京都足立区綾瀬3-20-1

TEL：03-5697-2111

JR山手線「西日暮里」で営団地下鉄千代田線に乗り換え「綾瀬」で下車

4. 集合時間・場所 入館時間

| | 集合時間※1 | 入館時間 | 集合場所 |
|------|--------|--------|-------|
| 大会役員 | 午前8:10 | 午前8:30 | 東京武道館 |
| 出場選手 | 午前8:30 | 午前9:00 | 正面入口 |

※ 1：集合時間に各大学の責任者を集め、注意事項の伝達を行います。

入館後、女子選手は1階更衣室・男子選手は2階観覧席において速やかに剣道着に着替え、

午前9:15までに1階競技コート会場に集合してください。その後大学委員会指導委員の号令で体操をした後に、速やかに第一武道場に集合してください。

競技コートに上がる時や練習を行うときは、**ウィンドブレーカーなどの上着を必ず脱いで**実施してください。

5. 選手変更受付

個人種目出場選手の変更は一切できません。

団体種目出場選手の変更は、大会前日設営時の10月21日(土)19:00までに実行委員長・渋谷奈々子に連絡して下さい(厳守)。(E-mail:pink-pink-pink-pink@docomo.ne.jp)

また、選手変更によって新たに競技に出場することになった選手がいる場合、参加費(¥3000/1名)を封筒に入れて(大学名・変更選手名明記)提出してください。

それ以降の選手変更は認めませんので、注意してください。

6. 競技開始 : 午前9時30分

体操終了後、「競技スケジュール」の一番最初に開始する種目に出場する選手は指定された各競技コートへ集合し、選手係の点呼を受けるとともに指示に従ってください。

その後の競技に出場する選手は、それぞれの競技の開始予定時刻の10分前までに集合してください。但し館内放送があった場合には、その指示に従うこと。

複数種目出場選手で、競技時間が団体種目と個人種目で重複した場合、個人種目よりも団体種目を優先させ、団体種目で重複した場合には1番目に実戦・2番目に法形・最後に展開の順で出場してください。その際、優先させない種目の競技コートの選手係にその旨を報告し、了解を得ること。

7. 開会式 : 午後1時30分～午後2時00分(予定)

点呼終了後、役員の手引に従って前年度の総合優勝校を先頭に北海道地区から順次整列してください。前年度総合優勝校の代表者は、総合優勝旗・総合優勝杯を返還した後速やかに所属大学の列に並んでください。退場のときは指定された出口2ヶ所を使って、出口に近い大学から駆け足で速やかに第一武道場に戻ってください。

8. 閉会式

前競技終了後、役員の手引に従って閉会式でプラカードを持った選手が所定の位置についた後、太鼓の合図で全員が駆け足で閉会式と同様に整列してください。

9. 表彰式 : 閉会式の中で、全種目の表彰を行います。

- (1) 総合成績・・・総合優勝校には、総合優勝旗・総合優勝杯(持ち回り用)・賞状・盾を贈呈します。総合第2位、第3位の大学には、賞状・盾を贈呈します。
- (2) 団体種目・・・優勝チーム・第2位のチーム・第3位のチームいずれにも賞状・盾を贈呈します。選手にはメダルを贈呈します。
- (3) 個人種目・・・優勝選手・第2位の選手・第3位の選手のいずれにも賞状・メダルを贈呈します。
- (4) 最優秀選手・優秀選手・・・賞状・盾を贈呈します。

10. 会場の撤去

閉会式終了後全員で会場の撤去を行いますので、会場近郊の各大学の主将は全員速やかに協力するよう指示してください。大会進行役員は、それぞれが使用した備品をチェックし収納ケースに保管すると共に輸送トラックへ搬入してください。

(2) 競技について

1. 競技種目と出場枠

***資格から外れている選手の出場は一切認めませんので、間違いのないよう確認をお願いいたします。**

| 競技種目 | 出場枠 | 出場資格 | 注意事項 | 選手変更 |
|----------|--------|-------------|-----------------------------------|------|
| 男子個人実戦競技 | 2名 | 初段以上 | プロテクター着用 | 不可 |
| 女子個人実戦競技 | 2名 | 初段以上 | 面ピット・プロテクター着用 | 不可 |
| 男子個人法形競技 | 2名 | 原則として初段以上※1 | 1・2回戦: 転体 3回戦: 変体 4回戦: 捻体 以降自由 | 不可 |
| 女子個人法形競技 | 2名 | 原則として初段以上※1 | 1・2回戦: 転陰 3回戦: 変陰 4回戦: 捻陰 以降自由 | 不可 |
| 男子団体実戦競技 | 1チーム | 原則として初段以上※1 | 1チーム5名※2 プロテクター着用 | 可 |
| 女子団体実戦競技 | 1チーム | 原則として初段以上※1 | 1チーム5名※2 面ピット・プロテクター着用 | 可 |
| 男子団体法形競技 | 1チーム | 原則として初段以上※1 | 1チーム5名 体の法形から自由 | 可 |
| 女子団体法形競技 | 1チーム | 原則として初段以上※1 | 1チーム5名 陰の法形から自由 | 可 |
| 男子団体展開競技 | 1チーム | 原則として初段以上※1 | 1チーム6名 背番号着用 | 可 |
| 女子団体展開競技 | 1チーム | 原則として初段以上※1 | 1チーム6名 背番号着用 | 可 |
| 新人団体法形競技 | 2チーム※3 | 5級以下 | 1チーム5名 旋体・旋陰から選択 | 可 |

※1: 「原則として初段以上」とは、監督の推薦があれば下記の級位も出場可とするという意味です。

但し出場申込時に所定の「監督推薦書」を必ず提出して下さい。

監督推薦は人数不足などの理由で出場させるのではなく、あくまで監督が参加できる相当の実力を有していると判断した選手に限り推薦するようお願いします。

< 監督推薦の基準 >

9月19日(火)までに下記の級位を取得しているものに限る。(見込み不可)

| 種目 | 監督推薦出場資格 |
|----|---------------|
| 個法 | 監督推薦により2級以上も可 |
| 団法 | 監督推薦により4級以上も可 |
| 展開 | 監督推薦により4級以上も可 |
| 団実 | 監督推薦により1級以上も可 |

※2：団体実戦競技においては原則として1チーム5名ですが、欠場者が出た場合、該当選手のみ不戦敗として競技に出場できます。

※3：新人団体競技においては、**最大2チーム**まで出場可能です。

このとき、旋体チームには3人以上男子選手・旋陰チームには3人以上女子選手をメンバーに入れてください。2チーム出場する場合、体・陰の指定はありません。

なお新人団体法形競技に限って出場選手が4人の場合も参加を認めますが、採点はされません。参加のみという形になります。

※4：個人法形競技の指定種目は1・2回戦＝「転」、3回戦＝「変」、4回戦「捨」です。

2. 出場資格と制限

(1) 出場資格

日本剣道協会に登録されている大学（大学院は除く）・短期大学の剣道部の部員で、平成18年度大学委員会会費及び大学委員会費がどちらも期日までに納入済みであること。「一般会員」は平成18年9月分までの「協会費」、「正会員」は平成18年度の「正会員費」を支払済みであること。

※一般道場生

大学委員会費及び大会出場費の納入を条件に、個人種目に限り出場を認めます。

※看護学生等

剣道部のある大学に学舎を持ち、同大学の剣道部員として活動し、上述の規定に準じている者は出場を認めます。

※医学部5・6年生、留学生

あくまでも大学生であることから、上述の規定に準じていれば出場を認めます。

(2) 出場制限

1人3種目までとし、これに違反した場合は該当選手の出場種目すべてについて失格となります。「(3) 推薦選手枠」に該当する選手にも、この出場制限が適用されるので注意してください。

(3) 推薦出場枠

下記の前年度個人種目ベスト3選手のうち、平成18年度も大学剣道部員の場合は、出場枠とは別に実行委員会の推薦で出場できます。

男子個人法形競技・・・堀米 遼太（日本大学）
女子個人法形競技・・・後藤 萌（東京大学）
女子個人実戦競技・・・大堀 美幸（城西大学）
岩瀬 沙織（東京大学）

(4) **補欠制度 *昨年と変わっていますので確認してください**

全ての団体種目に関して、大会途中怪我などによる棄権者がでた場合、申し込み時にエントリーされている補欠者各1名を出すことができる制度。補欠も1種目とするため、補欠種目も含め3種目が上限となります。※補欠のみの登録になる場合は、基本出場費のみ発生します。(3000円)

<補欠適用条件>

・競技中の怪我によりドクターストップが下され、申し込み時よりエントリーされた補欠者がいる場合のみ、次の試合より変更可能。

・変更の際は、各コート責任者に必ず報告し、本部で承認されてからの変更となる。

・一度補欠を適用した後は、元の選手が回復したとしても戻すことはできません。

* **ドクターストップが下された場合はいかなる理由でもその後の試合には参加できません。**

ドクターの判断を無視した場合は、全ての競技の得点を無効となりますので注意してください。

3. 選手の遵守事項

(1) 出場選手は「躰道五条訓」を練習しておいてください。

(2) 大会当日には、「健康保険証」を必ず持参してください。持参せずに写しで治療を受ける場合、一部の病院では医療費の全額支払いを求められる場合があります。

(3) 出場選手は日本躰道協会公認の躰道着を着用してください。躰道着の左右の上腕部に大学名や個人名を入れることや、一般的な常識範囲内のマークを取り付けることは認められています。また、団体展開競技に出場する選手は躰道着の背面部に背番号※1（主役は主・旋技を主体として用いるものは1・運技を主体として用いるものは2・変技を主体として用いるものは3・捻技を主体として用いるものは4・転技を主体として用いるものは5）を、必ず取り付けてください。

実戦競技に出場する選手は、指定プロテクターを必ず躰道着の下に着用してください。

女子選手は、空気を入れた面ピットも着用してください。プロテクターは1階競技会場に入場する前に着用し、会場での取り付けは一切しないようにお願いします。

以上の規定に違反すると失格となりますので、注意してください。

更に、以下の場合も出場できないので注意してください。

・躰道着の背面部に、背番号以外の物を取り付ける。

・故意に団体展開競技の番号に、団体・大学名を入れる。

・左胸部の「躰道」のマークを他のものに替える。

・袖口や袴を、短く切ったり捲ったりする(中段構えの際に、肘が出たりふくらはぎが出ているものは違反と見なします)。

※1「背番号」:約20cm四方の白布に黒文字で作成し、躰道着の背面部に取り付けること。

4. 競技の判定

本院公認審判（研修生も含む）に審判を依頼し、「審判規定」に則って各競技の判定を行います。
各競技の結果に従って、「総合成績※1」や「最優秀選手・優秀選手※2」を決定します。

※ 1 「総合成績」（優勝・2位・3位）・・・

各種目の入賞得点を、「優勝」＝10点、「2位」＝6点、「3位」＝3点、「4位」＝1点として計算し、大学単位で合計得点の高い順に表彰します。

同位の場合には、優勝→2位→3位→4位の順で多い方を上位とします。

※ 2 「最優秀選手（1名）・優秀選手（2名）」・・・

大会会長・審判審議長・審判長・副審判長の協議によって選出・決定します。

なお試合の状況により、該当選手がいない場合もあります。

（3）関係書類の提出と大会出場費の納付

1. 提出すべき関係書類

***提出期限が過ぎた場合は出場を一切認めませんのでご注意ください**

- | |
|-------------------------------|
| (1) 大会種目別出場申込書 |
| (2) 監督推薦書（該当団体） |
| (3) プログラム御芳名掲載承諾書 |
| (4) 各大学剣道部の紹介文・写真 |
| (5) 昼食弁当注文書（希望団体） |
| (6) 昨年度団体種目優勝校・総合優勝校の写真（該当団体） |

(3)(4)(5)(6)の提出期限は平成18年7月31日（月）必着です。
それ以外の(1)(2)は、平成18年9月22日（金）必着です。

提出先：〒164-0001

東京都中野区中野3丁目32番10号アヤベビル2階

NPO法人日本剣道協会本部 大学委員会

TEL：03-3384-2726 FAX；03-3380-1408

(1) 大会種目別出場申込書

所定の事項を記入し、提出してください。

※ 申込み〆切時点で、出場資格を満たしていない者の出場は一切認めません。

(2) **監督推薦書（該当団体）**

監督の推薦が必要な選手について、所定の事項を記入の上、提出して下さい。
提出なき場合は出場できませんので注意して下さい。

(3) **プログラム御芳名掲載承諾書**

プログラム上で各大学剣道部の部長・監督・コーチ・主将を紹介しますので、それぞれのご承諾をお取り付けの上、所定の事項を記入して提出してください。

(4) **各大学剣道部の紹介文・写真**

プログラム上で各大学剣道部の紹介を記載しますので、所定の用紙に記入した紹介文と写真を提出して下さい。集合写真は、剣道着着用で監督の先生方と一緒に写っているものにしてください。

紹介文についての詳細は、後日大学委員会担当者（林・高畑）より各大学へご連絡致します。

(5) **昼食弁当注文書（希望団体）**

大会当日の昼食弁当を希望する団体は別紙の「昼食弁当注文書」に所定の事項を記入して提出して下さい。昼食代金（1食700円）は大会出場費の納付指定口座へ平成18年7月31日（月）までに振り込んで下さい。※名の前に弁当の「べ」を記入してください。
弁当代の振込みは大会出場費とは別に大学単位で人数分振り込んでください。

(6) **昨年度団体種目優勝校・総合優勝校の写真（該当団体）**

昨年度団体種目優勝校・総合優勝校は、該当種目に参加するメンバーの写真1枚（道着着用、サービス版、裏面名前記入）を提出して下さい。

【昨年度の団体種目優勝校】総合：東京国際大学

男子団体実戦競技：福島県立医科大学

女子団体実戦競技：拓殖大学

男子団体法形競技：北里大学十和田

女子団体法形競技：北里大学

男子団体展開競技：拓殖大学

女子団体展開競技：拓殖大学

新人団体法形競技：北里大学Aチーム

2. 大会出場費の納付

※棄権による返金は一切ありません。

一昨年度より大幅に変更しておりますので、よく注意して読むようにしてください。

| 出場費 | 金額 |
|--------|-------|
| 参加費 | 3,000 |
| 個人種目 | 1,000 |
| 団体法形競技 | 5,000 |
| 団体実戦競技 | 5,000 |
| 団体展開競技 | 6,000 |

(例) 各大学が出場する種目の枠を要綱の上限にしたがってエントリーします。個人4種目・団法2チーム・展開1チームをエントリーした場合、大学がまとめて2万円(¥1000×4+¥5000×2+¥6000×1)と参加費¥3000を人数分支払います。選手一人当たりの支払う金額は各大学で精算していただきます。

※ **選手変更によって新たに競技に出場することになった選手がいる場合は、参加費(¥3000/1名)が発生しますので注意してください。**

大会出場費は平成17年9月22日(金)までに下記口座へ振り込みで納付して下さい。

| |
|--|
| 三菱東京UFJ銀行 蒲田支店 普通 2286453 日躰協大学委員会会計 真崎弥生 |
|--|

※ 振込名記入に関する注意

- ・ 大会出場費を振り込む場合・・・大学名の前に大会の「夕」を記入
- ・ 弁当代を振り込む場合・・・大学名の前に弁当の「べ」を記入

(4) その他

1. 大会保険について

今大会に出場する選手は、実行委員会で保険に加入します。大会中に怪我をされた選手は、実行委員会までお申し出下さい。保険内容に関しては別途詳細をお送りいたしますので、各団体の責任者・選手の方は申し込むまでに必ず確認して下さいますようお願い致します。

実行委員会から治療費実費をお支払いする事はできませんので、ご理解頂いた上でお申し込みされますようお願い申し上げます。

2. 会場の設営

平成18年10月21日(土)17時00分に各大学の部員全員で東京武道館に集合し、大会進行役員の指示に従って全員で競技コートの設営を行いますのでご協力下さい。

また、設営終了後20時30分まで武道館での練習が許可されています。設営が早く終わればそれだ

け練習時間が増えますので、できるだけ多くの部員の参加をお願いします。

3. 宿泊の手配

各大学で予約手配を行って下さい。

(例) ホテルパインヒル綾瀬 tel:03-3690-4131

ホテルウイングインダーナショナル北松戸 tel:047-369-5511

詳細は、日本剣道協会事務局にお問い合わせ下さい。

東京武道館へ、宿泊場所の紹介などの問い合わせをなさらないようにお願いします。